

# 福島県郡山市（平成28年3月31日作成）

- 本計画は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故を契機としたエネルギー需給の構造変化への取組等社会経済情勢の変化や、集約型都市構造実現への要請の高まり、地球環境問題への対応を踏まえた「郡山市都市計画マスタープラン2015」に掲げた基本理念を実現する一つの柱として、持続可能なまちづくりに貢献する「環境負荷を抑える低炭素まちづくり」を基本目標に位置付ける。
- 都市構造、交通、エネルギー、みどりの各分野において温室効果ガス排出量の削減に積極的に取り組み、そして環境負荷の少ない低炭素まちづくりを推進することで、持続可能な社会の実現に寄与するため、低炭素施策に関する具体的な取組を定める。

## ■低炭素まちづくりの将来像

すべての市民が暮らしやすい  
持続可能な環境負荷の少ないまちづくり

## ■二酸化炭素排出量の削減目標

本計画における  
2030（平成42）  
年度の削減目標は、  
2012（平成24）  
年度排出量比16%  
削減（415千t-  
CO<sub>2</sub>）とする



## ■計画区域

計画区域は市街  
化区域全域とす  
る



## ■計画期間

2030年（平成42年）とする

## ■計画の目標を達成するための取組

### 都市構造分野：「郡山型 コンパクト&ネットワーク都市構造」の形成

コンパクトで周辺環境と調和した、賑わいのあふれる都市の形成を図る。

#### ◇生活圏とネットワークの形成

- ・立地適正化計画の策定  
都市機能誘導区域と居住誘導区域を定めて居住や都市機能の適正配置を図る。



地域生活圏とネットワークのイメージ

### エネルギー分野：建築物における省エネ・創エネの推進

公共施設と並行して、民間事業者や家庭等の建築物における省エネ機器や、再生可能エネルギー等創エネ機器等の普及を推進する。

- ◇公共施設の低炭素化
- ◇市民による省エネルギーや再生可能エネルギー活用の推進
- ◇新エネルギー等の導入推進



地中熱式空調設備を導入した「中央公民館」

### 交通分野：多様な交通手段によるスムーズでエコな移動の実現

公共交通、徒歩・自転車、自動車を組み合わせ、誰もが快適に移動できる交通環境の実現を図る。

- ◇使いやすい公共交通体系づくり
- ◇公共交通や自転車・徒歩への転換促進
- ◇道路交通の円滑化・低炭素化



使いやすい公共交通体系づくりイメージ

### みどり分野：まちなかで歴史と緑を感じるまちづくり

豊かな水と緑、そしてそれらに支えられてきたまちの発展と歴史を感じることもできる、魅力と潤いにあふれた親水空間・緑化空間の整備を進める。

- ◇公有地の緑化や親水空間の整備
- ◇民有地の緑化
- ◇地域資源の活用



緑のカーテン